

# 第2回 子育て教育部会

資料1

## ビジョンの認識共有

「子どもが輝き、  
みんなが幸せなまち」

「子どもが輝く取り組みに、大人が関わる  
ことでみんなが幸せになる」

子育ては「親だけではなく、社会全体が関わること」が大事！

平成30年9月27日（木） 302会議室

# これまでの取組と今後の流れ

第1回区政会議（6月12日）で提案されたテーマ

部会長  
検討

『地域コミュニティと学校の連携を  
どう作っていくか』をベースに！

モデルケースとなる学校等を選定し、地域との連携体制を構築する方法を議論していく。東住吉区、もしくはその地域、学校の強みや弱みを検証しながら『住み続けたいと思うまち』を目指す。

7月

第一回  
子育て教育部会

モデルケースとなる学校を選定  
現地視察・意見交換の実施を決定

現地視察  
各テーマでの意見交換



中野中元気アップヒアリング

白鷺中元気アップヒアリング

子育て応援ナビ意見交換

9月26日

第二回  
子育て教育部会

提案内容の決定！

提案

日本

10月

第二回区政会議  
本会議



## 前回の部会で決定した項目

### ○モデルとなる地域を検討

# 中野中学校

区政会議(子育て教育部会)の議論の中で、『地域コミュニティと学校の連携をどのように作っていくか』が部会で検討していく議題として提案された。「元気アップ」の活動が地域と学校を繋げるきっかけになるのではないかとということで、元気アップの取組の現状と課題を確認していくこと、が第2回子育て教育部会開催までの調査事項として決定した。

### ○必要な調査事項

資料2 中野中学校  
元気アップヒアリング(8月10日実施)

資料3 白鷺中学校  
元気アップヒアリング(8月7日実施)

資料4 子育て応援ナビ  
意見交換(9月12日実施)

●元気アップ活動などに力を入れており、学習面サポート、土曜授業など活発な校区だという意見から、調査対象のモデルとして、「中野中学校」を選定し現地視察を行い、校長先生とコーディネーターを交え意見交換を実施。

●松田委員によるヒアリング。学校ごとにニーズや課題が異なっていることもあり、青少年指導員の活動を通じて関わりの深い白鷺中学校へのヒアリングを実施。⇒元気アップコーディネーター 永田吉隆さん・首藤美幸さんへのヒアリング。

●部会での議論で挙げた課題・提案について、子育て応援ナビを立ち上げた経緯等の共有した上で、実際にサイトを確認し、情報の検索等の操作体験し、具体的な改善可能な点や周知方法等についての意見交換を実施。

## 本会議 提案内容 (仮)

①地域＝行政機関、町会、企業・商店街、団体など、より広く地域資源を活かし、地域に根差した青少年育成に貢献できないか？

②学校＝教職員、生徒、PTA、卒業生、小学校、教育委員会などと課題の共有と協力関係の強化を！

## 提案に向けた本日の議論

### ○地域コーディネーターや学びサポーターなどのボランティアの後継育成などの仕組みの構築について

- 事業を前へ進める(未来に繋げる)ためには、実際に現場で活躍される方々の「情熱」が圧倒的に重要だが、その思いが受け継がれる「仕組み」の構築の方法について
- 白鷺中学校の報告にある「元気アップ隊」のように在校生によるボランティア活動の啓発から、その後の卒業生によるサポート体制に繋げることができるか？(他の学校に波及させることができるか？)

### ○その他、テーマの実現に必要なと考えられること

- 地域コーディネーターや校長先生のお話を聞くことができたが一般教職員の方々も含めもう少し全体の問題点や課題の聞き取り共有を進める必要があるのでは？
- 生徒側の要望や希望の聞き取りについても必要では？